

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	林業技術センター(研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場のみ)
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)
県所管部課	環境森林部 山村・木材振興課

1 施設利用状況

指 標		R7	R6	R5	増減理由等
森の科学館入場者(単位:人)		2,924	3,309	3,262	・自主研修については、夏場の気温が高かったことから、上半期の保育園、幼稚園、小学校等の遠足利用が減少。 ・研修寮については、高校生以下の利用は減少したが、一般利用が増加。
主催研修参加者(単位:人)		1,164	1,067	999	
自主研修受入人数(単位:人)		1,107	1,750	1,199	
研修寮利用者(単位:人)		453	501	607	
コメント	主催研修参加者については、昨年度と比較して増加したが、その他は若干減少となった。森の科学館入場者、自主研修及び研修寮利用者の増加を図るべく、継続してPR活動を行う必要がある。				

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	31,470	31,470	30,400	人件費	23,911	23,317	24,225
利用料金収入	406	333	599	報償費	228	202	192
食事代収入	2,210	1,943	2,024	旅費	371	134	157
研修材料代収入	865	1,018	717	需用費	3,116	3,878	3,092
クリーニング代収入	91	89	78	役務費	901	906	896
雑収入等	111	67	67	原材料費・その他	3,839	4,034	3,640
受取利息	15	4		租税公課費	2,475	2,378	2,399
				県への利用料金納付額	0	0	0
合 計(①)	35,168	34,924	33,885	合 計(②)	34,841	34,849	34,601
収支差額(①-②)	327	75	-716				
コメント	施設利用料及び食事代(収入)の増及び消耗品費、修繕費の削減及び研修材料費の減により収支差額がプラスとなった。今後も業務内容の効率化による経費削減を進めていく必要がある。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃(随時)、特別清掃(年1回ワックス)
	保守・点検 遊歩道の点検(月1回)、施設内巡回(月1回以上)
	警 備 研修寮使用時夜間巡回(日3回)
	修 繕 各種用具の保守・整備(常時)
	備品等管理 備品点検(年1回)
	安全対策 安全・危険管理マニュアル整備、施設内安全点検(月1回)、消防訓練(年1回)、救急救命講習会
	そ の 他 芝刈下刈・除草・剪定・薬剤防除・施肥実施、毎月1回朝会実施
企画運営業務	サービス提供体制整備 職員接遇研修(年1回)、制作指導、食品衛生責任者養成等技術研修(年1回)
	イベント等ソフト面充実 年間行事案内(教育施設等各団体への働きかけ)、出前研修による施設活動のPR、HP・マスコミ、地方紙を利用した情報発信
	施設設備等ハード面充実 トイレの水漏れ修繕、老朽化した案内看板撤去、遊歩道木階段の補修
	そ の 他 地域経済配慮(地元雇用、職員・作業員等臨時職員 計12名)
管理運営体制	業務に関する職員研修の実施
コメント	施設管理等適正に実施されている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	主催研修利用者の参加者へのアンケート等	
	スタッフ対応、イベント内容等について評価が高い。	

5 総合評価

評価コメント	定期的な点検・修繕・清掃により、適切に施設の維持管理がなされている。また、施設における研修では丁寧な説明等を心がけるなど、利用者へのサービス向上に努めており、施設利用者へのアンケート調査結果を見ても、利用者の満足度は高いことから、施設管理運営については適正に実施されている。今後とも多くの県民に利用され、喜んでもらえるような施設管理運営が期待される。
今後の課題と対応	平成27年度以降県への利用料納付実績がないため、研修寮の稼働日数をあげるため一層のPRを行い、利用者数の増加を図る必要がある。